

## 会社概要

社名 株式会社 九州屋

創業 1974年(昭和49年)

資本金 2億7725万円

所在地 【本社】  
〒192-0361  
東京都八王子市越野24-1

【東京オフィス】  
〒140-0002  
東京都品川区東品川4-13-14  
グラスキューブ品川 12F

代表者 代表取締役社長 小林 拓

事業内容 百貨店、駅ビル、ショッピングセンターでの  
野菜・果物の専門店の運営  
スーパーマーケットの運営

関連会社 エア・ウォーター株式会社(2015年 業務資本提携)  
明野九州屋ファーム(グループ農場)

 九州屋  
KYUSUYUYA



九州屋ホームページ



九州屋キャラクター  
きゅーた



九州屋は全国の百貨店・駅ビルなどで旬の新鮮な野菜・果物を販売している日本一の青果専門店です

※売上高・店舗数・従業員数が日本一



## 九州屋の 原点 そして 未来



代表取締役社長  
小林 拓

### 九州屋はベストマッチを創出する現場力を強化します

九州屋は徹底的にお客様のニーズを吸い上げ、ウォンツを具現化させた店舗づくりを目指します。本来、どんな商品を揃え、どんな店舗にするかは、お客様にお決めいただくもの。店舗の数だけそれぞれの個性が育つものです。商品展開、ビジュアル、情報… そうしたすべてで、お客様にベストマッチしたきめ細かい対応のできる現場力を強化します。

### 「お客様幸福度、日本一」の青果店を目指して

見ているだけで楽しくなる魅力的な店舗、豊富で美味しい品揃え、ワクワクする販売戦略、お客様が思わず笑顔になるおもてなし精神に溢れた接客。こうしたサービスを通じ、ご来店いただいたすべてのお客様に、「幸せ」をお届けする青果店でありたいと願っています。「お客様幸福度」日本一の青果店を目指し、全社一丸となって邁進します。



創業者  
島田 修

### 九州屋の原点、それはたった1坪から始まった

私がトラックで野菜の引き売りを行ったのが1974年。そして翌年、ようやく借りたたった1坪の土地から、九州屋の歴史は始まりました。なんの変哲もない、小さな八百屋… それにも関わらず、私は「100億売れる八百屋を目指す」という大きな夢を抱いていました。それから時が経ち、九州屋はお客様、お取引先様のご支援のもと、日本一の青果店と言われるまでに成長しました。

### 九州屋は真の日本一の青果店を目指します

九州屋は今、大きな経営改革を推進しています。この改革の目的は、九州屋をよりパブリックな企業に進化させることです。そしてその進化の目的は、常にお客様のためでなければなりません。「心売る商売」「お客様がすべて」という永久不滅の理念を、すべての従業員が実践し、お客様に感動していただける青果店、日本一ワクワクする青果店になることを目指し、九州屋は挑戦を続けます。

## 01 お客様と向き合う 対面接客販売

私達が創業当時から大切にしていることは、販売員がお客様と直接顔を合わせて会話しながら商品の提案・販売する「対面接客販売」です。いわば昔ながらの八百屋のような販売スタイルで、デジタル化が進む現代であっても、人と人との温もりを大切にしています。

「先日おすすめしたトマト、お子様にも気に入っていただけましたか」「新品種のりんご、香りがとても良いんですよ。ぜひ一度お試しください」「今日は寒いですね。お鍋にぴったりの白菜が入ってますよ」

対面接客販売には「売る」以上に「寄り添う」気持ちがあり、お客様が毎日通いたくなるようなお店作りをしています。



## 02 店舗主導型経営

九州屋の一番の強みは、店舗ごとに販売戦略を変えられることです。自店の地域性やお客様のニーズに合わせて、商品の選定、売価設定、陳列方法などを決めていくことができます。

本部からの統一的な指示よりも、日々お客様と接しているからこそ気づける各店舗の判断こそが、地域のお客様の声を売り場に直接反映させる近道だと考えています。

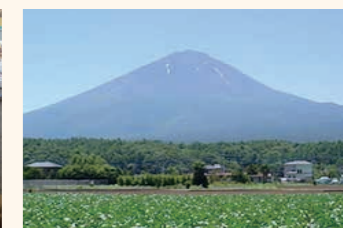
市場の変化や地域ニーズが多様化している今の時代においても、お客様と接し、細やかなニーズを取り入れることで、より親しまれ、愛される店舗へと育っていくのです。

## 03 全国に広がる物流網

九州屋を支えているのは全国に広がる独自の物流網です。その土地の食材だけでなく、地元ではなかなか手に入らない食材を揃えることで青果専門店として差別化を図っています。

例えば、福岡の店舗で扱う「かつお菜」を東京でも販売した際、福岡出身のお客様から「まさか東京でかつお菜が手に入るとは思わなかった!」と大変ご好評をいただきました。

新鮮な商品をお客様の元に届けることはもちろん、各地域の食文化を体験できるといった価値をお客様に届けられるのも九州屋の特徴のひとつです。



## 04 グループ農場 明野九州屋ファーム

山梨県北杜市明野町にある明野九州屋ファームは、一万坪の敷地に7千坪弱のハウスを備えたグループ農場です。年間2500時間以上の日光が降り注ぐ「日本一の太陽の里」で水耕養液栽培によりトマトを生産。太陽の恵みをたっぷり受けて育った甘く美味しいトマトづくりに取り組んでいます。生産現場を間近で学べる、関係会社ならではの農場研修も実施しています。